

松本市・札幌市・奈井江町 子ども交流事業ニュース



北海道博物館にて記念撮影

平成28年8月7日号

松本市・札幌市・奈井江町子ども交流事業の参加者は、8月6日、信州まつもと空港を出発しました。

空港には、伊佐治（いさじ）こども部長さんをはじめ、市役所の人が見送りに来てくれました。みんなで元気良く「行ってきます！」のあいさつをして北海道へ出発しました。

飛行機は、新千歳空港の上空が混雑していたらしく予定より30分位到着が遅くなりました。そのため、北海道博物館を見学する時間がちょっと短くなってしまいましたが、博物館では、北海道の歴史や文化、自然、アイヌの人たちの暮らしなどをたくさん勉強しました。

学芸員の春木さんから、博物館を見学するときのポイントなどを教えてもらって、見学をしました。

みんな、北海道のことをしっかり勉強したね。

今日はどんなことを見たり聞いたり、体験したりできるかな。とても楽しみだね。



8月7日は、札幌市内の見学やPMFオーケストラの鑑賞、大倉山展望台の見学をします。
地下鉄やバスを乗り継ぐから、団体行動を守りましょう！
暑くなるから熱中症にも気をつけて、こまめに水分補給をしようね。

みんなの感想

上空からの景色を比べると、圧倒的に北海道の方が田んぼ、畑が広く、改めて土地の広さを思い知らされた。まさに「百聞は一見にしかず。」

北海道博物館では、特に獲物を捕らえるときに使う回転式離頭銛に興味を持った。複雑かつ高技術で長年狩をしていたアイヌ民族の知恵に触れることができた。

北海道に初めて来て、上空から北海道をみたとき、やっぱり長野県とは違うということがよく分かりました。博物館では、分かりやすく説明してあったので、とっても勉強になりました。

博物館へ行って楽しかった。

明日も楽しみ。北海道のことがよく分かった。
北海道サイコー。

松本空港から飛行機に乗って空に飛んだとき、とてもきれいだった。

北海道博物館では、アイヌの人々がどのように暮らしていたのか良く分かった。

マンモスの種類も分かった。

たくさん歴史が学べてよかった。

今日はとってもたのしかった。北海道博物館では、北海道の歴史や生物についてたくさん知ることができた。とてもおもしろかった。



北海道博物館では、まず最初に目に入るマンモスにはおどろきました。「昔の人はこんなに大きな動物を食べていた」ということに圧倒されました。そして、石器の変化にもおどろきました。こんなにわかりやすく人類の進化を見たのは初めてで、とても良い経験ができたなあと思います。

そして北海道全てが大きい！

北海道に来て松本と違うと思ったことは、「電車の中やバス！」

「やっぱり北海道はずすしい！」

「カラ×2してるから、きもちい！」

松本でも活かせると思ったことは、博物館でスマホをフルに活用していたので、松本でもやりたいと思った！



物心ついてから、初めて飛行機に乗った。地形がよく見えて、下北半島の形が本当に地図通りだったことや、行ったことの無い場所も地図帳で調べた形にぴったり当てはまったことに驚いた。

博物館ではあまりよく知らなかったアイヌ文化を近くで見られて勉強になった。

飛行機の加速度が予想以上に強かった。北海道博物館は、北海道の特色が分かって楽しかった。ただ、見学時間が少し短かったのが残念だった。タクシーの運転手さんが面白かった。

北海道博物館で、ナウマンゾウとマンモスゾウの違いが分かった。

暑さと寒さの違いで角の形が変わるのがすごいと思いました。